

天然資源に注目！ 素人でもできる ロシア投資入門

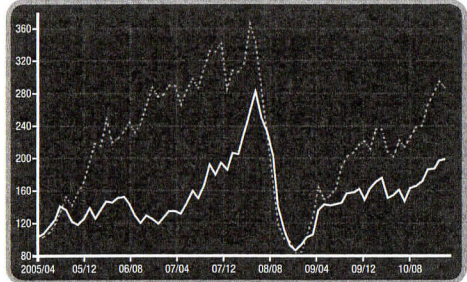
新興国の勃興による資源の需要拡大や、中東情勢の混迷で原油価格が急上昇するなど、今後さらに深刻化する資源エネルギー争奪戦。そんななか、資源大国・ロシアが急激な躍進を始めている。いま、最も熱い新興国・ロシアへの“確実な投資方法”をプロが解説する！



資源大国ロシアの 快進撃が、いま始まる！

今 回、日本国民を震撼させた東北関東大震災。さまざまな余波を受けながら、注目すべきなのがエネルギー問題だ。福島原発事故は、世界中へ原子力発電の安全性についての波紋を投げかけた。今後、日本を含め、世界各国が原発以外のエネルギーに移行する可能性はあるのだろうか。

「今回の原発事故の影響で、海外で原発の使用を控える動きが出るのは確実。そこで、原子力に代わって、原油・ガスなどの資源需要が増加するのではないだろうか。」



WTI（原油先物価格）とRTS（ロシア株式指数）の推移を表したグラフ。白線がWTI、点線がRTSを表す。実際にグラフの動きを見ると、両者が連動していることがわかる

もともと、世界的に見て、産業が発展した新興国が資源獲得に躍り込んでいるという背景がありました。今回、今回の原発事故によって、今後、さらに資源価格が上昇していくと推察する可能性は非常に高いですね（F.P.・伊藤亮太氏）

伊藤亮太氏  
ファイナンシャル・プランナー、スクウェア・ワン（ワン）取締役。FP業務以外にも、豊富な金融知識をもとに、多数の企業や大学にて講演を行う。著書に「ゼロからわかる金融入門 基本と常識」など

小川佳紀氏  
フィスコ株式リサーチ部アナリスト。国内証券に在籍後、09年5月に同社へ入社。一級上場から新興国まで、幅広い株式分析に携わる。日本証券アナリスト協会認定会員でもある

されるのが、資源大国のロシアだ。「ロシアに注目が集まるその最大の理由は、原油価格とロシア株は連動する」から、データを見ると、WTI（原油先物価格）とRTS（ロシア株式指数）はほぼ同じ動きをしています。世界第2位の産油国であるロシアは、上場企業の大半が石油・天然ガスなどの資源エネルギー関係で占められている。それゆえ、原油価格が上れば、ロシア株も連動して高騰するんです。現在、原油価格は1バレル100ドルを突破し、今後も上昇の兆し。そ

れに乗じて、今回もRTSが上昇する見込みは多いにありますね（フィスコ・小川佳紀氏）  
さらにロシアといえば、原油だけでなく、世界第1位の天然ガス産出国としても知られている。「原油価格が高騰し続ければ、その代替資源として、天然ガスにも注目が集まります。今後、世界的に需要が拡大するのは原油と天然ガスの価格が堅調である限り、ロシアは安泰でしょう（伊藤氏）」  
そして、経済的な側面ばかりではなく、政治的な側面でも、ロシアは転機を迎えているらしい。「まず、ひとつは今年にもロシア

のWTO加盟が実現しそうだという点。そうすれば、海外特にアメリカとの貿易が活発化し、飛躍的な経済成長を遂げるはず。また、もうひとつは石油会社のロスネフチや大手銀行ズベルバンクなど国営企業の民営化。従来、ロシアの国営企業の株は、政府が大部分を保有・管理していましたが、今回、今回の改革で、政府は大量の国営企業の株式を売却しています。その狙いは、ロシアの膨大な財政赤字の改善。民営化で得た資金のうち、約1兆ルーブル（約2兆8000億円）を使い、赤字を補填するようですね（小川氏）

これらの政策で財政赤字を立て直せば、さらにロシア経済が活性化することは間違いない。  
**ロシア個別株投資は 資源系企業を狙え**  
今後ますます有望な投資先と思われるが、ロシアの個別株は、日本から購入できるのだろうか。「日本では、SBI証券、ニユー証券、さらに今年4月25日からエイチ・エス証券で個別株の購入が可能ですね。ニユー証券は取り扱い銘柄が多く、マイナー銘柄も取り扱っているに入ります。また、SBI証券は大手ネット証券

だから日本株と「総合管理したい人には便利だし、手数料も1.2%と比較的安い。エイチ・エス証券はまだ詳細は発表されていませんが、新規参入という点で期待が高まりますね（伊藤氏）」  
そこで気になるのが具体的な銘柄だが、はたしてオススメは？「最初に、押さえるべきは原油関連。まずは、先ほどお名前を挙げた石油会社のロスネフチ。現在、イギリスの大手石油会社のBPと業務・資本提携を進めており、販売拡大が期待されます。あと、西シベリアを生産拠点にするルクオイルも有望ですね（小川氏）」

「原油もいいですが、今後の資源として期待が高まる天然ガス系で、ロシア国内で40の企業を子会社化しているガスプロム。あと、独立系天然ガス会社のノヴァテックも注目ですね（伊藤氏）」  
もっとも、現在、ロシア国内で急速に進むインフレが、景気回復の足を引っ張るなど、投資リスクがないわけではない。だが、基本的に資源価格が上れば、ロシアの株価が上昇する。資源大国として徐々に存在感を押しつつあるシベリアに今後さらに価格が高騰する前に、手を出さないとはいえないのでは？

個別株はちと不安……。 そんな人にはロシア株投資もアリ

さて、ロシアの個別株に関してはすでに説明したとおりだが、なかには「海外の個別株を購入するのは、やはりリスクが高いのでは」との足を踏まされし人も多かろう。そんな人に向けて、アナリストの小川氏がオススメするのは、ロシア株の投資信託だ。「ロシアの個別株は、取り扱いはある証券会社がまだ少ないうえ、扱っている銘柄数も限定されています。でも、投資信託ならばプロの手によって幅広い銘柄に投資されているので、幅広い銘柄に投資できる。あと、最近、ロシア株で構成された投資信託が、非常に上昇率がいんですよ。例

えは、昨年8月から今年1月末までの間で、新興の株式が入った投資信託のなかで好成績だったのもロシア株関連ですね。今後でも、この調子でロシア株投資が上昇する可能性は高いのでは。」  
またF.P.の伊藤氏も、投資信託のメリットについて語る。「ロシアに投資をする場合、個別銘柄を購入する以外に、ADR（米国預託証券）や、ETF、不動産ファンド、債券などを購入する手があります。でもやはり、一人でも多くの言語の壁やリスクも大きい。その点、現地のプロが的確に情報を収集して判断してくれる投資信託のほうが、信頼性が高いし

安心できるはずですよ。なには、実際にどのファンドに投資するのかがよいのか。『ロシア株ファンド』と『SBI Cロシアオープン』などが、最近成績がいいようですね。1.5年での上昇率は、前者が19.2%、後者は10.79%を記録しています。ここで両社が上昇し理由としては、これまでよりもエネルギー系の企業の投資比率をものに引き上げたことが大きいようです（小川氏）  
「ロシア株が上がりたい人、もちろんと意識されがちな投資信託が、現在計算中のロシア関連銘柄に間違った投資をしないよう、なうえり、タームも見込めるというのならば、一度くらい騙されたと思って手を出してみても？」

おすすめロシア株投資銘柄一覽

- ガスプロム**  
GAZP (223.2ルーブル)  
国有ガス会社の民営化で設立され、ロシアの総合ガス供給システムを保有。ロシア国内でガスの独占供給事業を展開するほか、西欧へも輸出
- ノヴァテック**  
NVTK (368.04ルーブル)  
独立系天然ガスの大手企業。天然ガス産出量は、ガスプロムに次ぐ国内2位。業績は09年から右肩上がり記録している
- ロスネフチ**  
ROSN (284.82ルーブル)  
石油と天然ガスの探査、抽出、精製、販売を担う国営最大手。シベリア西部、サハリン、コーカサス北部、ロシアの北極地域で石油を生産
- ルクオイル**  
LKOH (2016.4ルーブル)  
石油会社。ロシアおよび米国で精製所およびガソリンスタンドを運営するほか、パイプラインや船舶による石油・石油製品の輸送を行う
- ズベルバンク**  
SBER (101.11ルーブル)  
ロシア国内に約2万所以上の店舗を持つ、ロシア最大の商業銀行。ロシア国内預金業務および商業銀行サービスを手がける

※1ルーブル=2.86円（'11年3月23日現在）